



3月30日 (木)
今日の天気予報

電子版会員

紙面を見る

記事データベース

キーワードを入力

記事検索

トップ 佐賀 全国・世界 文化・芸能 特集・連載・オピニオン サガン鳥栖 写真館 fit おくやみ お知らせ

現在位置: トップ 佐賀ニュース 行政・社会 「里山資本主義」藻谷さん、若者の定住策説く

シェア 1 ツイート G+1 B!

印刷

「里山資本主義」藻谷さん、若者の定住策説く

2016年02月08日 10時13分



地方創生の鍵は若者の定住策にあると強調する藻谷浩介さん＝佐賀市のアバンセ

ベストセラー「里山資本主義」の著者で、地域経済を研究する日本総研主席研究員、藻谷浩介氏の講演会が7日、佐賀市で開かれた。藻谷氏は、人口減少時代の地方創生のあり方について話し、「最も大切なのは若者の定住化。そのためには、地域の人の考え方や消費行動を変える必要がある」と呼び掛けた。

藻谷氏は、これからの地域活性化は若者の定住化と同義であるとし、地域が取り組むべき二つの「鍵」を示した。

一つは「地域に誇りを持つ」ことで、よく佐賀県の人が口にする「うちには何も無い」という言葉は、「謙遜どころか最悪。言えば言うほど若い人は逃げていく」と強調した。もう一つは、「地元の産品をできるだけ購入する」ことだと指摘する。域内でお金を循環させることで新たな雇用が生まれ、若者の人口増につながると説いた。

藻谷氏の試算によると、佐賀県民の年間消費額の1%を域外から域内に移せば、165億円が地元に戻ることで、雇用約4100人分に相当するという。藻谷氏は「高齢者はしっかりお金を使い、若い人に給料が入るようにしてほしい。ため込んで死んでも世の中のためにならない」と語り掛けた。

講演会は県生涯学習センター「アバンセ」が主催し、約300人が聴講した。

シェア 1 ツイート G+1 B!

印刷

この記事を読んだ人の人気記事

- 西友佐賀店、閉店へ 建物老朽化、売り上げ減 03/23
- FGT試乗ルポ 車輪幅の変換滑らか 03/26
- 知事選絡みで県の派遣、白紙 唐津市副市长選任問題 03/23
- 来月からの年金、医療、子育て 高齢者の負担増える 03/26
- 小城市長選、投票率は42.81% 03/26

3月30日 (木)

宅配申し込み

電子版申し込み

紙面1部購入

佐賀新聞 社員募集

記事アクセスランキング

	24時間	1週間	1か月
1	骨の遺伝性難病 原口議員が公表		
2	佐賀県教職員人事を公開		
3	佐賀工高・石川 U-18代表入り		
4	29日、教職員人事を速報		
5	伊万里市の名村造船所、台車燃える		
6	長時間労働に初の法規制 働き方改革実行計画		
7	原口議員、外務委で復帰		
8	佐賀県人事異動、ICT活用へ改組		
9	佐賀県、准看護師3人を業務停止		
10	投票率42%「遺憾」小城市選管		

関連会社求人
佐賀新聞プランニング 社員募集

佐賀新聞への
投稿はこちら